

令和3年度

第2回草津市立認定こども園園名等選定委員会 会議録

■日時:

令和3年11月16日(火) 10時00分～12時00分

■場所:

草津市役所 さわやか保健センター1階 視聴覚室

■出席委員:

森 枝美委員長、森 邦博副委員長、川井委員、中谷委員、馬場委員、松田委員、矢守委員

■欠席委員:

なし

■関係人:

矢倉幼稚園 森園長

■事務局:

子ども未来部:前田副部長

子ども・若者政策課:松永課長、門田課長補佐、大岡主任

幼児課:山際課長

■傍聴者:

0名

1. 開会

【委員7名中7名の出席をいただき、事務局より開会を宣言】

2. 議事

(1)園章の候補の選定について

【事務局】

まず初めに、応募いただいた作品の公開についてですが、今回、募集要項において、最優秀賞および優秀賞の受賞作品についてのみ、市に著作権が帰属すると定めております。このことから、応募者の著作権保護のため、草津市情報公開条例第7条第1項第1号に基づき、市ホームページ等では、次回の委員会を経て最終的に選定した最優秀賞、優秀賞のみを公開することとなり、その他の作品を掲載している資料については非公開、傍聴者用の資料も閲覧のみとさせていただきます。

委員の皆様におかれましては、園章案の選定にあたり、本日の資料3、資料4について、各選出関係団体の中で見ていただくことは可能ですが、著作権等の関係上、コピー配布やソーシャルネットワーク、ホームページ等での公開は控えていただくようお願いします。では、資料の説明に移ります。

<資料1、2について説明>

【委員長】

ただいまの説明や資料の内容について、ご質問等はありませんか。また、異議がなければ、ただいまの説明のとおり園章の候補の選定に移りたいと思いますが、説明のとおりでよろしいでしょうか。

(委員 異議なし)

【委員長】

では、園章の候補の選定に移りたいと思います。事務局から説明をお願いします。

【事務局】

<資料3、4について説明>

【委員長】

それでは、事前の資料配布の際にご案内しておりましたように、各委員がお選びになった園章候補の作品と理由を伺っていきます。その後、意見交換を行った後に、別紙「矢倉こども園

園章1次選定票」により園章の候補を選んでいきたいと思ひます。

それでは、園章候補の作品番号と理由などをお聞かせください。

【委員】

1つ目は4番の園章です。こちらは周囲を囲い込むことで、白い部分が増えていくつきりと基本図形が浮かびあがり、印象的なのでこちらを選びました。

2つ目が9番です。こちらも、先ほどと同じく園章の内側を縁取ることで、少し柔らかい印象を受けました。そして、こども園の頭文字である「矢」が真ん中にあるので、インパクトがあるので目につきました。

3つ目が33番です。こちらは、「さくら」の中に上手に文字が入っているのと、園の周りの「点」で子どもたちをイメージしているところも、可愛らしいなあと思ひ選びました。

4つ目が129番です。こちらは、矢倉こども園が目指す子どもの姿が可愛らしく表現されているところが目にとまりました。また、園名も下に書かれているので、分かりやすいなと思ひ選びました。

5つ目が158番です。「矢倉」の文字を含むモチーフにそれぞれの意味が込められていて、それが上手に表現されていることと、全体のバランスがきれいだと思ひ、選びました。

【委員】

まず、13番。子どもたちが仲良く助け合いと、書いてあるとおりの表現が園章に表れていると思ひ選びました。

次に、46番。未来に向けて、人口衛星や星のイメージで、説明に書いてある、「上部には屋根を思わせる白いラインを入れました。その下で、こども達が元気いっぱい園庭を駆け回る様子を思ひ浮かべながらデザインしました。」から、将来宇宙まで羽ばたいていくという感じがよいと思ひました。

51番。説明に書かれている、「手を頭上に掲げて舞い踊る子ども」の様子」というところが園に良いのではないかと思ひます。

95番。説明に書かれている「頭文字「Y」のデザイン化で、空に向かって両手を広げる園児の姿を表現し、頭をハート型にした」というところにひかれました。

最後は130番。説明に書かれている、「いのちひびきあう子ども・こころひびきあう子ども・あそびひびきあう子ども」を3つの円で表した」というところが良いのではと選びました。

【委員】

私が選んだ作品は、「かつての矢倉幼稚園のイメージがあるもの」、それから、「これから通う矢倉小学校、中学校との関連」、ぱっと見て「ああ、矢倉学区だな」とわかるものを中心に選びました。それと同時に、あまり細かい絵が描かれていると、子どもが真似して描くことができないので、できるだけ簡単で、しかも「矢倉」という言葉を大事にしたいと思い、その点で選びました。

7番。矢倉幼稚園や矢倉こども園の「矢」と書いている作品を一つ。

35番。「こどもえん」が図形の外にでている作品です。

94番。「やぐらこどもえん」の作品です。

131番。少し装飾的ですが、これは子どもでも、自分の園章がすぐわかるかなと。

146番。図柄的なもので、校舎が描いてあるもの。

以上、単純明快なものを選びました。

【委員】

ぱっと見た印象で選びました。

131番。シンプルで、「いのちひびきあう子ども・こころひびきあう子ども・あそびひびきあう子ども」、この意味を込められた3つの円が連なっている点と、3つの連なる円が白抜きなので、軽く見えるかなと思いました。

16番。上から見た園児が手を握り合っている、あと、基本的に「やぐら」の文字が入っているという点を念頭に置いて選びました。ですが、これに縛られなくてもいいのかなと思い始めていたりしますが、この数年、園名が入っているので、名前が入っているほうがいいのかと、選んでいる時は思っていました。

44番。こちらの作品も、白抜きが多く、軽く見えるので。

46番。44番と同じ理由です。

49番。「3本の矢」の意味が良いかなと思い選びました。

【委員】

180点の応募された数々の絵柄の中から、何をポイントに選ぼうか、すごく迷ったのですが、まずは、「やぐら」や「やぐらこどもえん」という言葉が入っている作品であること、後、子ども達にこの園章は、このような皆の願いで作られたんだよと、願いを子ども達に伝えることが分かりやすく表現されているものを選んでみました。

119番。「友だち同士、時に保護者や保育者が手を取りあい円になる様子を矢倉幼稚園時代から歴史を引き継いだやぐらの下に配置しました。」の箇所に願いが込められているなと思いました。

16番。「子どもたちが仲良く助け合い、明るく楽しい生活が送れるように」という願いからです。

35番。字体が少し柔らかめで、「ちいさな花が元気に育ちゆく姿」という子ども達の願いが感じられるところが良かったかなと思いました。

129番。「こども園が目指すこどもの姿」の3点と「3つが手を繋ぎ、輪の中ですくすくと育つ新芽」という箇所に願いを感じました。

170番。そして、もう1点は、子ども達もたくさん応募されているので、その中からも選びたいと思い、「幼稚園のみんなが元気で幸せになってほしいな」という素直な子ども達の願いが感じられたので選びました。

【委員】

今までの矢倉小学校との連携や分かりやすさ、込められた思い等を見て選びました。

60番。柔らかいハートで囲まれているところが、こども園らしい柔らかさが感じられました。

69番。さきほど、こども達が宇宙の中で走り回ってるとか、44番の丸い形で囲まれているとか、同じようなイメージですが、大きな文字で描かれていて見やすいなど。よく似ているデザインがたくさんあり、その中から選ぶのは難しかったのですが、こちらの作品を選びました。

131番。129、130、131番は3つの円で、矢倉こども園の3つの思いを、3つの円で表しているのですが、その中から見やすいと感じたこちらの作品を選びました。

168番。168番、169番、170番、171番は、花や植物のパツと開いていく感じが、子どもらし

いなど。どの作品にしようか迷ったのですが、私のイメージとして落ち着いたのが168番です。

23番。「こどもえん」というところが、シンプルで分かりやすい。たくさん似たデザインがあり、「こども」だけのデザインもありますが、「こどもえん」の文字が描かれている22番、23番。両作品ともにわかりやすいですが、比べてみると、23番のほうが、わかりやすいかなと。また、わかりやすくひらがなで描かれているところが良いかなと思い選びました。

【委員長】

私は、まだ矢倉のことも、地域的なこともよくわからない、外から来た者ですので、2人子どもがおりますので、その子達が園生活でどのように過ごしてきたかを思い浮かべながら選びました。その時に、作品説明の中にもでてきているのですが、「若葉」のイメージ、植物のイメージがたくさんありましたが、私としては、子ども達を育てるときに、「若葉」のイメージが近いかなと思い、「若葉」のイメージのある作品をいくつか選んでいます。

16番。「若葉」ではないのですが、上から見て、子ども達が手を繋いでいるところが良いと選びました。手を握り合っている様子というのが、子ども達がいろいろ喧嘩もしながら、生活していく中で友達と手を繋いで生活していくところをイメージしやすいかなと選びました。

29番。若葉の新芽が2本デザインされていて、可愛らしくもありますし、新芽が子どもたちを表していて、大きい新芽と小さい新芽が、幼児さんと乳児さんのイメージで捉えることもできるかなと思い選びました。

30番。こちらも双葉の若葉が描かれているのですが、やぐらのアルファベットの「Y」をイメージされていて良いかなと思い選びました。

129番。3つの輪のイメージで、矢倉こども園が目指す子どもの姿と関わりあって、その輪の中で育っていく新芽のイメージが素敵だなと思い選びました。

79番。矢倉こども園の頭文字「Y」の手を広げているところも良いかなと思い、「Y」を図案化し、伸び伸びと元気に育っていく園児の姿のデザインを選びました。

【事務局】

< 候補としてあげられた作品を前のホワイトボードに掲示 >

【委員長】

それでは、各委員から候補案とその理由を発表いただきました。これより、意見交換を行います。なお、意見交換の後に園章候補の投票を行います。

今、皆さまから出していただいた作品27作品が掲示されていますが、あらためてご覧いただいて、ご意見、質問などございましたら、お願いします。

【委員】

上から見て、子どもたちが手を繋いでいる16番は、デザイン的にもいいですね。

【委員】

「やぐら」と、「やぐらこどもえん」と多くの作品がその文字を明記されているので、明記されている作品とそれ以外に分けてみて、「やぐら」と明記されている作品のうち、象徴的な「えん」を入れているか、入れないかなどと分けてみたらいかがか。「やぐらこどもえん」という文字をいろいろかえているのと、子どもの絵や若葉の絵などマーク的なものを描いているか、いないかと分けてみたら、整理できるのではないかと思います。

使い道として、あまり細かい絵柄というのは、実際、使う時に、刺しゅうしたり、プリントしたりされると思いますが、園としていかがですか。

【関係人】

シンプルなものが良いなと思いながら、16番の上から見て、子どもたちが手を繋いでいるのも良いなと思いました。

他のこども園の図案を見ていたら、矢倉の場合は、形がはっきりしているので、物凄く強い、バン！と目に入ってくる。他の幼稚園の図案は優しいけれど、あまり細かくされていない。

私は、離れたところから見たら細かいところは、はっきり見えないです。すっきりと遠くからでも形がわかる方が良いのではないと。矢倉幼稚園の園章は形だけでも強いのに、あまり細かい図案でない方がいいのかなと。

【委員】

4番の図案は難しい。いろいろ解釈をしなければいけない。4番を選ばれたのはどなたですか。

【委員】

はい、私です。黒がすごくインパクトがあったので、白抜きをまずメインに考えて選びました。

【委員】

実際の園章は黒ではないですね。物によっていろいろ変わりますよね。

【関係人】

園旗は、緑の地色に白の園章ですが、印刷や、封筒などは黒になります。

【委員】

園旗みたいな色だと、また見方が変わってくる。

【関係人】

他の園の園章を参考にしていて、「矢」だけで矢倉と分かる。遠くから見てわかるものがよいのかなと。

【委員】

自分で33番を選んだのですが、シンプルさ、遠くから見た時のわかりやすさという点でいうと、わかりにくいかなと。

(委員同意)

【委員】

何年前も、読みにくい作品があって落とさせてもらったことがありました。

【委員】

個人的には46番の説明文の中で、星の軌道というスケールの大きい話があるので、それは残しておいてもいいのかなと。

【委員】

あと、象徴的なものは、流行り廃りがありますので、長年使用する場合、笑顔や、男の子、女の子など、これらは難しいなあと思うので、落としたことはあります。

【委員】

60番ですが、「「いのち」や「こころ」を象徴するハート」というところで、ひとりひとりの子ども達の命ということで、この作品もあっていいのかなと。

【委員】

他はいかがでしょうか。では、ここから第2次選考をしますか？もう少し精選した方がいいですか？

【関係人】

そうですね。

【委員】

この中から5作品を選ぶとなると、5作品選べないと思うのですが。それから、44番を復活させてもらっていいですか？

【委員】

44番を復活。

【委員】

優しく抱きかかえているイメージがあって、丸さがいいと思う。

【委員】

その丸さで、矢倉の形が緩和されていると思います。

【委員】

51番はもういいと思うのですが。円とマークで、健康センターのような感じがします。

【委員】

79番もどうですか？

【委員】

79番も健康センターのような感じがします。

【委員】

いかがですか、こちらの17作品でよろしいですか？

【関係人】

やはり、一番小さく使用するとバッジですね。大きくても園旗ですね。側で見ているのと、遠くから見ているのでは、全く違うので。

【委員】

では、遠くから一度見てみますか。

【関係人】

形が見えないというのは、勿体ないかなと思います。子どもの描いてくれた作品もいいですが、現実には、真ん中が目立った方がよいのではないかと思います。

【委員】

では、みなさん、一度後ろから見てみてください。

精選して良い作品が残りました。

【委員長】

それでは、別紙の選定票に、それぞれ候補とする園章案の番号を記入し、投票箱に投函してください。

～各委員の投票結果をとりまとめ、事務局にて集計し、ホワイトボードに点数を記載～

【委員長】

それでは、事務局から結果の報告をお願いいたします。

【事務局】

投票の集計結果を発表いたします。1位、作品番号131番、こちらが25点、選択者数が7名でした。次に、2位、16番で21点、選択者数6名、3位、7番で11点、選択者数5名、4位、44番で10点、選択者数3名、5位は2作品あります。46番で9点、選択者数3名、60番で9点、選択者数2名。続いて、7位、129番で7点、選択者数2名、8位、35番で6点、選択者数2名、9位、23番で5点、選択者数3名、10位、29番と95番で各1点、選択者数各1名でした。

投票結果は、以上です。

【委員長】

ただいま、事務局より、候補となる作品を報告いただきました。本日の候補の選定においては、投票の集計結果により、合計得点が上位のものから、5案程度を選考し、それに加えて委員から特に申し出のあった案についても候補案としますので、結果について、御意見がある場合は発言をお願いします。

【委員】

9位の作品に3票入っていますが、順位は低いですが、9位まで候補に入れると多いでしょうか。候補に挙げてもいいのではと思うのですが。点数的には低いですが、投票者が多いということで。

【委員】

この後は、保護者の方、PTAに意見を聞くのですか。

【委員長】

はい。この後、PTAに意見をいただき、それを受けて、委員側で上位3作品を投票していくこととなります。その時に、すべて候補に入れて9作品としてPTAに意見を願うか、6作品として意見を願うかという形になります。

【委員】

その意見は、次の委員会で参考にするのですね。

【委員】

はい。

【委員長】

見ていると9位までのところで、7位、8位の作品もパターンが違うので、いろいろ見てもらった上で、意見を出してもらえるので、9位まで残しておいてもよいのかなと思ったのですが。

(委員 意見なし)

【委員長】

ひとまず9位のところまで、9作品としてPTAより意見をいただくということでよろしいでしょうか。

(委員 賛同)

【委員】

PTAの皆さんには、この順位で見てもらうのですか。順位関係なしですか。どのような形で見てもらうのですか。

【事務局】

順位は関係なしで見てくださいと思っています。あくまで参考としてご意見をいただいて、最終は委員会で決定します。

【委員長】

その他の作品について、ご意見、ご質問はございませんか。

(委員 意見、質問なし)

【委員長】

それでは、ただ今のご意見も踏まえまして、委員会としての候補をもう一度確認させていただきたいと思います。投票結果のとおり上位から、131番、16番、7番、44番、46番、60番、129番、35番、23番までを候補としてPTAの方にご意見をいただくということでよろしいでしょうか。

(委員 賛同)

【委員長】

異議がございませんので、矢倉こども園の園章の候補については、これらの9作品とします。

本日、予定をいたしておりました議事は以上です。本日選出した候補の中から、PTAからの意見を聴取し、その意見を踏まえながら、次回の委員会にて最優秀賞を1点、優秀賞を2点決定したいと思います。

委員の皆さまにおかれましては、次回までに熟慮いただきますようお願いいたします。最後に、事務局から、何かありますか。

【事務局】

委員会の初めにも申し上げましたが、資料3, 資料4の扱いにつきましては、著作権等の関係上、コピーの配布や、ソーシャルネットワーク、ホームページ等での公開はお控えいただきますよう、よろしく願いいたします。

【関係人】

長時間に渡りありがとうございました。180もの作品があつて、またこんなに長時間、矢倉こども園のことを思って協議していただいたことを、園に戻って職員に伝えたいと思います。また、頑張っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

4. 閉会

【事務局より閉会を宣言】